

# 令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和5年 3月

学校法人郷原学園 西原幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・「こころ」思いやりのある子ども（思いやり）
- ・「笑顔」自ら挨拶のできる子ども（挨拶）
- ・「楽しむ」自らあそびを楽しむ子ども（主体性）
- ・「しあわせ」自分のことは自分でできる子ども（自律）

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

コロナ禍3年目となり、それと共に保育を行っていかねばならないことから以下のことを重点目標として定めた

- ・コロナ禍でも園に来る機会を作れるように保育内容を見直す
- ・バスを利用する際に、消毒をしたりマナーを守れたりするよう工夫する
- ・園内研修の充実を図り、with コロナ時代に保育者の専門性を深めたりできるよう工夫する

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取り組み状況
1 教育目標	A	園の目標について、全ての職員が共感・理解できるよう、ホームページ作成などを通して、浸透するようにしている。
2 保育計画	A	子どもたちのやる気を引き出すためにはまずは保育者自身がやる気を持って取り組めることが大切だと考え、保育計画を立案できるように配慮している。
3 保育環境	A	支援の必要な子どもたちも安心して過ごせるように環境設定を考えている。
4 安全・防災	A	非常滑り台をあらゆる学年の子も使えるように、訓練の中で取り組み、子どもたちも共に意識を高めていくことを目指している。
5 チーム保育・同僚性	A	年齢・経験年数が異なる幅広い保育者集団の中で、それぞれが尊敬の念を持ちながら接することを大切にしていきたい。正規職員もパートタイム勤務の職員も連携を図り、話し合い助け合いながら歩んでいけるチームを目指している。
6 保育内容・方法	B	園内研修などを多く取り入れ、客観的にその年齢の子どもたちの育ちを捉え、職員同士の良さに気づく時間を作っている。保育の後は、振り返りのための会議を開き、お互いの保育間を聴き、思いや考えを一緒に深められるようにしている。
7 保護者との関わり	A	連絡帳をアプリに移行することによって、写真などで日々の様子を伝え、可視化することを目標としている。また、お会いできる時は、直接様子を伝えることを心がけている。
8 職務の遂行	B	職員全員で集まることは難しかったため、互いの仕事の進み具合に気づけない点もあった。
9 専門性の向上	A	チャレンジ保育研修の機会を多く設け、互いに知識を高めていく。互いの保育をみたり、発言したりすることで個々の専門性を高めていく。

10 食育	B	地域での感染が増えると、計画が思うように進められない点が課題であった。
11 子育て支援	A	月に一度の「未就園児教室」では、感染対策に取り組みながらも、親子で触れ合う大切な時間を共に育んできた。2歳児は幼稚園への緩やかな移行を目指し、1歳児は母親支援を大切にしてきた。
12 預かり保育	B	異年齢の子どもたちに合わせた保育を見直したことで安心して預かり保育が展開できた。雨の日や、感染が広がった時の保育の工夫を皆で模索しながらの1年であった。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

## 4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	コロナ禍が続き、3年目となった今年度。参観の在り方や、時間や人数を工夫することで、今までのような形で行事や保育ができることにも気づけた大きな1年となったと思う。保護者の方からも、以前より、参観しやすくなったという声もいただいた。来年度に向けてコロナ終息の兆しもみられるので、子どもたち・保護者・幼稚園ともに、大切なことを再確認しながら、これからも歩んでいきたい。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

## 5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
1 行事について	1年を通して見直しを持って、職員・サポートともに連携を図り、早めに会議をしていく。
2 コロナ対策	アフターコロナがよりよくなるよう、今まで工夫してきたよかったですを取り入れるようにする。
3 研修について	保育をより深めていけるよう、積極的に園内研修や、研修を開催できるようにする

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

今年度に限らず、小さな子供達にとって初めての集団生活の場(保護者の皆様も特に関わりを持ちながら子供の成長を見守りたいこの時期に、コロナ禍という前例のない中での保育・園行事・参観など、園にとってもとても長く大変な3年間だったことと思います。コロナ禍前に長女が入园してから長い間お世話になりコロナと共に「変わっていく」園生活を過ごしてまいりましたが、そんな中「かわらない」西原幼稚園にも気付くことができました。どんな時もこそがまんなかで、子供達の為に最善を尽くし、様々な対策・対応をとって下さること。私達保護者にとっても大きな信頼・安心につながりました。そして子供達1人ひとりの存在をとても大切に想って下さる大きな愛情。そのおかげでどんな時も子供達が自分らしくのびのびいられるんだと思います。これからも時代と共に「変わっていく」それでも「かわらない」西原幼稚園の大ファンでありたい援えています。

令和5年3月23日

PTA副会長 岩藤奈央

